

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成24年9月13日(2012.9.13)

【公開番号】特開2012-34409(P2012-34409A)

【公開日】平成24年2月16日(2012.2.16)

【年通号数】公開・登録公報2012-007

【出願番号】特願2011-224112(P2011-224112)

【国際特許分類】

H 0 4 W 72/12 (2009.01)

【F I】

H 0 4 Q 7/00 5 6 3

【手続補正書】

【提出日】平成24年7月27日(2012.7.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ノード B によって実装され、U L (uplink:アップリンク) E U (enhanced uplink:向上したアップリンク) チャネルの利用を、E U のスケジュール動作を維持しながら最小化する方法であって、

前記ノード B が割り当て情報を受信しなかったときは、前記 U L E U チャネルを介して E - D C H (enhanced dedicated channel: 向上した専用チャネル) 割当て要求を受信するステップと、

前記 E - D C H 割当て要求の受信に応答して、前記ノード B が、予め定められた時間期間が満了する前に前記 E - D C H 割当てが提供可能ではないと判定するステップと、

前記判定に응答して、前記ノード B が、前記 E - D C H 割当て要求を受信したことを示す確認メッセージを送信し、前記ノード B の要求優先順位待ち行列に前記 E - D C H 割当て要求を保存するステップと、

前記予め定められた時間期間に設定されたタイマを起動するステップと、

前記保存された E - D C H 割当て要求を割り当てるために利用可能なリソースがあるか判定するステップと、

前記 E - D C H 割当て要求を受信した時刻を記録するステップと、

前記タイマの満了に응答して、リソース割当ての失敗の通知を送信するステップと

を備えたことを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記 E - D C H 割当て要求は優先順位を示しており、前記 E - D C H 要求は、前記優先順位に基づいて前記要求優先順位待ち行列に保存されることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記タイマは、E - D C H 割当て要求が失敗したことを判定する前に E - D C H 割当て要求に提供されるべき最大時間期間を定めることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

予め定められた時間期間の間起動されるよう構成されたタイマと、

E - D C H (enhanced dedicated channel: 向上した専用チャネル) 割当て要求の受信に응答して、予め定められた時間期間内に前記 E - D C H 割当てが提供可能か否か判定す

るよう構成された回路と、

前記 E - D C H 割当て要求を保存するよう構成された要求優先順位待ち行列と、

前記 E - D C H 割当て要求を受信したことを示す確認メッセージを送信するよう構成された回路と、

前記保存された E - D C H 割当て要求を割り当てるために利用可能なリソースがあるか判定するよう構成された回路と、

前記 E - D C H 割当て要求を受信した時刻を記録するよう構成された回路と、

前記タイマの満了に応答して、リソース割当ての失敗の通知を送信するよう構成された回路と

を備えたことを特徴とするノード B。

【請求項 5】

前記 E - D C H 割当て要求は優先順位を示しており、前記 E - D C H 要求は、前記優先順位に基づいて前記要求優先順位待ち行列に保存されることを特徴とする請求項 4 に記載のノード B。

【請求項 6】

前記タイマは、E - D C H 割当て要求が失敗したことを判定する前に E - D C H 割当て要求に提供されるべき最大時間期間を定めることを特徴とする請求項 4 に記載のノード B

。